

様式 F-7-2

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(C) 4. 補助事業期間 平成23年度～平成25年度
5. 課題番号

2	3	5	2	0	2	3	8
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 富永太郎直筆原稿の画像データベース化による文学テキストの生成研究

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
5 0 1 4 0 1 0 8	スギウラ シズカ 杉浦 静	文学部	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
9 0 1 5 7 7 2 7	ムナカタ カズシゲ 宗像 和重	早稲田大学・政治経済学術院	教授
6 0 2 5 3 1 7 6	イシカワ タクミ 石川 巧	立教大学・文学部	教授

9. 研究実績の概要

本研究の目的は、富永太郎草稿、ノート、絵画、手紙等のデータベース化を通じて、人文科学領域に於ける画像データベースのあり方を検討し、優れた研究支援ツールの開発を目指すものである。ここで構築するデータベースは、文学テキストの草稿のみならず、絵画資料をも画像として組み込んだものである。

本年度は、既存の草稿データベースの構築理念の検討をふまえ、日本近代文学会6月例会（2013年6月、於跡見女子大学）及びシンポジウム「東洋学におけるテキスト資料の構造化とWebの可能性」（2013年12月、於京都大学）において富永太郎草稿データベースを例として以下のような新たなデータベースのあり方を提案した。1. 草稿の解読テキストを項目とすること。2. 解読テキストは、デプロマティックあるいはTEI方式のテキストによることが望ましい。3. データベース方式としては、現状ではXLMによる記述がその後の発展性を考慮したとき最も望ましい。

これと併行して、富永太郎草稿データベースの作成をすすめ、これまで未整理であった富永太郎全詩篇の生成過程を明らかにし、大妻女子大学紀要及び大妻国文に発表掲載した。これによって、データベース構築のための準備が完了したことになる。なお、パイロット版として、詩帖データベースの作成を行った。

画像データベースによる文学テキストの生成研究としては、作成中の草稿データベースを試用して「恥の歌」の生成過程の考察により、富永太郎の詩作の一つの傾向を明らかにした。この成果については、2014年刊行予定の『近代文学草稿原稿研究事典』に掲載される（入稿済み）。

10. キーワード

- | | | | |
|--------|----------|------------|-----|
| (1) 草稿 | (2) 富永太郎 | (3) データベース | (4) |
| (5) | (6) | (7) | (8) |